

令和4年度第10回
公立大学法人公立ほこだて未来大学教育研究審議会議事録

- 1 日 時 令和4年11月28日(月) 15:00~16:32
- 2 場 所 オンライン開催
- 3 出席者
委 員：片桐学長(議長)、川嶋副理事長、平田副学長(理事)、横川事務局長(理事)、鈴木(恵)副学長(社会連携センター長)、香取研究科長、和田学科長、中小路情報ライブラリー長、宮本メタ学習センター長、大場システムデザインセンター長
オブザーバー：安井情報デザインコース長、櫻沢複雑系コース長、川越教務委員長、新美学生委員長、富永評価委員長
事 務 局：杉村企画総務課長、佐藤(修)財務・研究支援課長、久保田教務課長

4 議 事

(1) 審議事項

① 未来大生が選ぶ高満足授業の公表について

- ・ 富永評価委員長から、当日配付資料に基づき、毎学期末に実施している「授業フィードバックアンケート」の回答結果をもとに、回答率が80%以上、かつ満足度が90%以上の授業について、本学のホームページにおいて公表する旨を諮り、公表する内容について意見交換がされた。具体的な教員評価へのポイント反映については、次年度に検討することとして、了承された。

② 公立ほこだて未来大学大学院履修規程の一部改正について

- ・ 久保田教務課長から、資料1に基づき、公立ほこだて未来大学大学院履修規程の一部改正について、講義の内容に合わせて科目名を変更する旨の説明があり、原案のとおり了承された。

(2) 報告事項

① 利益相反マネジメントにかかる運用体制および手続きの整備について

- ・ 鈴木(恵)社会連携センター長から、資料2に基づき、利益相反マネジメントにかかる運用体制および手続きについて、年度内に内規や要綱を決めていく旨の報告があった。

(3) その他

① 2023年度学年暦について

- ・ 久保田教務課長から、資料3に基づき、2023年度学年暦について説明があった。クォーター制について意見交換され、学年暦の表記や履修登録のシステムについて再度確認することとなった。

② 次年度の情報デザインコースの体制について

- ・ 安井情報デザインコース長から、次年度の情報デザインコースの体制について説明があった。助教の採用について、今後人事委員会で検討することとなった。

③ 研究資金の獲得について

- ・ 片桐学長と鈴木（恵）社会連携センター長から、文部科学省と公立大学協会を訪問して得た情報について共有があり、研究資金の獲得について、次年度に向けて検討を進めていきたい旨の説明があった。